

TOPICS

1

「小国のごつつお大集合!!」が
開催されました



「小国のごつつお大集合!!」が11月17日(日)にだんだんを会場に開催されました。このイベントは「我が家の一品は小国の絶品 つなげよう食のリレー」を合言葉に地域の子供たちや若い世代に小国産食材を使用した家庭料理を伝承していこうという主旨で行われたもので、100品を超える家庭料理がだんだんの3階の廊下に並びました。当日は晴天にも恵まれて400名近くの来場者があり、用意していたテーブルでは足りないほどで、実行委員はうれしい悲鳴でした。

同時開催として「おやこでクッキング!太巻き寿司」が1階の和室で行われました。保育園児や小学生たちが先生に習いながら一生懸命太巻きを作っている姿を見ていると、小国の食が受け継がれている様子を垣間見ることができたようで、うれしくなりました。

年末年始には伝統的でおいしいごつつおが食卓に並ぶと思います。このような地域独自の食文化を大切にしていきたいですね。

TOPICS

2

「里のあかり」が開催されました!



10月19日(土)~27日(日)、越路にある松籟閣(国登録有形文化財)を会場に小国・川口・越路地域の物産とクリエイターがコラボし制作したアート作品が展示されました。(主催:小国和紙用途開発研究会)。会場には小国和紙や酒瓶を利用した照明ライトなどが展示された他、週末には茶会が行われました。また、夜には庭園のイルミネーションが点灯されました。各地から様々な方が期間中550名訪れました。趣のある松籟閣の雰囲気とこれまでとは一味違った地域の物産の活用の方法に、多くの来場者が興味津々。新たな物産の魅力に気付き楽しんでいました!

TOPICS

3

「小国中学校おぐにカンパニー学習発表会」が開催されました。



11月28日(木)に小国中学校にて地域貢献活動の学習発表会行われ、地域住民の方々や小国地域の各小学校の6年生が参加しました。小国カンパニーは運営本部、営業部、企画部、技術部、活動部の5つの部署に分かれて運営され、福祉施設での交流会の開催や小学校の本の番号整理、夏祭りへの参加、小国地域のプロモーションビデオの制作など地域からの依頼を受けて様々な活動を行いました。また、毎月の活動をまとめた新聞の展示や各部の活動に対する評価なども行われ、中学生が一生懸命に取り組む姿を見てきました。なお、企画部まちづくり班が上栗集落で取り組んだ活動が、1月1日(水)の午後3時30分よりNCT(ケーブルテレビ)にて放送予定です。ぜひご覧ください。

下村集落収穫感謝祭が 開催されました

TOPICS 4



10月20日(日)に下村集落集会所で収穫感謝祭が行われました。当日はあいにくの雨でしたが、子どもから大人まで約100名の参加者が訪れ大盛況でした。写真や花などの作品展が行われた他、採れたばかりの新米のおにぎりや、前日から仕込みをして作った芋煮、焼肉や焼き鳥、ダッチオーブンで作った鳥の丸焼きなどが振舞われ、とても豪華なお昼となりました。

また、当日はサプライズ企画として、昨年まで地域復興支援員として小国地域を担当していた、西澤卓也さんの結婚を祝う会も行われました。長岡大学の学生と下村集落振興協議会のみなさんが作った、二人の出会いから結婚までの紙芝居を大学生が劇を交えて再現されると、会場は笑いの連続でとても和やかな雰囲気でした。また、子どもたちと大学生からは手作りのウエディングケーキが振舞われるなど、とても楽しいひと時になりました。



TOPICS 5

小国地域で結婚式が 開催されました



11月9日(土)に西澤卓也さん、中嶋亮子さんの結婚を祝う会が桐沢集落、法末集落で行なわれました。会場となった桐沢集落の屋敷広場は、集落の復興活動の一環として、多世代の人たちが集い交流できる場所を作ろうと整備された場所です。当日会場には小国地域内外から150名を超える方々が祝福に来られました。食事は小国地域の生産組合、集落のみなさんのご協力のより、たくさんのご馳走が並びました。また、小国中学校の生徒、卒業生から二人に手作りのメッセージボードのプレゼントや総合学習で作った上栗集落の清水ゼリーが振舞われました。

この他にも様々な企画が行われ、一生食べものに困らないようにと桐沢米のおにぎりでのファーストバイトや、モクレンの記念植樹などが行われました。

第2部は会場を移動し、法末集落のやまびこで行われました。集落での結婚式は数十年ぶりだそうで、二人の結婚を祝い、法末芸能保存会のみなさんによる「法末神楽」の披露や、西澤さんが5年前から始めたPC教室で学ぶ住民の方が、この日のために制作した思い出写真を紹介するなどお祝いムード一色でした。学生の頃から地域づくりの活動に携わってきた西澤さんを暖かく祝福している集落のみなさんの姿がとても印象的でした。

小国の昔ながらの 年末年始

～12月30日(年末)

すず払いを行うが、このとき子どもたちは友だちの家に逃げていた。また、九日餅はつくな、と言い28日か30日にもちつきを行う。

12月31日(おおみそか)

鎮守様にお参りして、年取り魚を食べる。

1月1日(元日)

雑煮餅を食べる。大根、人参、ゴボウ、昆布、焼き豆腐、ゆりなどを正月のご馳走として早夕飯に食べる。

1月2日

昔は、この日にお寺に年始に行った。書初めを行ったり、初夢を見たりする。

1月3日

釜神様の年取り。かまどに小豆飯、年取り魚などを供えて、鍋でご飯を炊いてかまどを休ませる。

1月7日

七草雑炊や小豆のお粥を食べる。

1月11日(鏡開き)

飾っておいた鏡餅を切って食べる。蔵開きともいい、年が明けて初めて蔵に入る。

1月13日～14日

小正月の餅つきをして、ダンゴの木や榎の木に餅で梅の花を飾る。若木に稲の穂や梅の花釣せんべいを下げる(餅花、繭玉、せんべ飾りともいう)。

1月15日(小正月)

明け方に火箸でコスギをたたきながら唄を歌って歩いて回り、鳥追いをする。藁で大きな円錐形のものを作り、門松などを入れて燃やして糞の神(どんどやき)を行う。